

日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)

運用報告書 (全体版)

第85期 (決算日 2017年11月17日) 第87期 (決算日 2018年1月17日) 第89期 (決算日 2018年3月19日)
第86期 (決算日 2017年12月18日) 第88期 (決算日 2018年2月19日) 第90期 (決算日 2018年4月17日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)」は、2018年4月17日に第90期の決算を行いましたので、第85期から第90期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2010年10月29日から2020年10月19日までです。
運用方針	主として、世界の様々な資産を投資対象とする投資信託証券 (投資信託または外国投資信託の受益証券 (振替投資信託受益権を含みます。)) および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<652946>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率				
	円		円	%	%	%	百万円	
61期(2015年11月17日)	2,435		40	△ 0.6	0.1	98.6	8,660	
62期(2015年12月17日)	2,254		20	△ 6.6	0.1	98.5	7,756	
63期(2016年1月18日)	2,178		20	△ 2.5	0.1	98.5	7,266	
64期(2016年2月17日)	2,084		20	△ 3.4	0.1	97.8	6,827	
65期(2016年3月17日)	2,284		20	10.6	0.1	98.2	7,270	
66期(2016年4月18日)	2,372		20	4.7	—	98.5	7,417	
67期(2016年5月17日)	2,386		20	1.4	—	98.5	7,372	
68期(2016年6月17日)	2,408		20	1.8	—	98.5	7,196	
69期(2016年7月19日)	2,564		20	7.3	—	98.2	7,453	
70期(2016年8月17日)	2,553		20	0.4	—	97.9	7,251	
71期(2016年9月20日)	2,458		20	△ 2.9	—	98.5	6,802	
72期(2016年10月17日)	2,520		20	3.3	—	98.4	6,877	
73期(2016年11月17日)	2,378		20	△ 4.8	—	98.4	6,332	
74期(2016年12月19日)	2,475		20	4.9	—	98.5	6,383	
75期(2017年1月17日)	2,460		20	0.2	—	98.6	6,293	
76期(2017年2月17日)	2,549		20	4.4	—	98.6	6,397	
77期(2017年3月17日)	2,514		20	△ 0.6	—	98.5	6,203	
78期(2017年4月17日)	2,544		20	2.0	—	98.5	6,221	
79期(2017年5月17日)	2,494		20	△ 1.2	—	98.5	6,015	
80期(2017年6月19日)	2,447		20	△ 1.1	—	98.5	5,734	
81期(2017年7月18日)	2,389		20	△ 1.6	—	98.7	5,503	
82期(2017年8月17日)	2,335		20	△ 1.4	—	98.4	5,264	
83期(2017年9月19日)	2,333		20	0.8	—	98.5	5,174	
84期(2017年10月17日)	2,276		20	△ 1.6	—	98.3	5,011	
85期(2017年11月17日)	2,150		20	△ 4.7	—	98.5	4,616	
86期(2017年12月18日)	2,186		20	2.6	—	98.5	4,585	
87期(2018年1月17日)	2,176		20	0.5	—	98.3	4,505	
88期(2018年2月19日)	2,097		20	△ 2.7	—	98.8	4,285	
89期(2018年3月19日)	2,039		20	△ 1.8	—	98.8	4,121	
90期(2018年4月17日)	1,981		20	△ 1.9	—	98.5	3,945	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

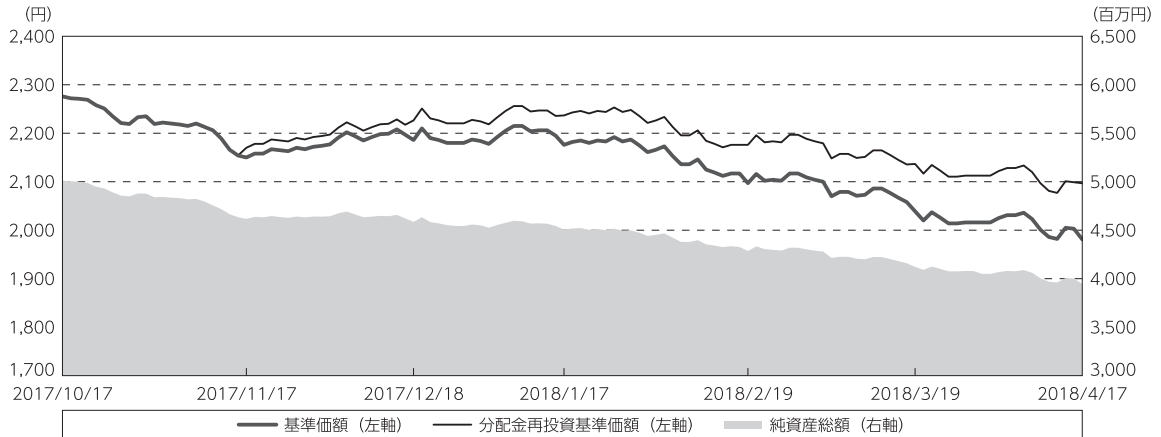
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第85期	(期 首) 2017年10月17日	円 2,276		% —	% 98.3
	10月末	2,235		△1.8	98.5
	(期 末) 2017年11月17日	2,170		△4.7	98.5
第86期	(期 首) 2017年11月17日	2,150		—	98.5
	11月末	2,172		1.0	98.7
	(期 末) 2017年12月18日	2,206		2.6	98.5
第87期	(期 首) 2017年12月18日	2,186		—	98.5
	12月末	2,178		△0.4	98.5
	(期 末) 2018年1月17日	2,196		0.5	98.3
第88期	(期 首) 2018年1月17日	2,176		—	98.3
	1月末	2,161		△0.7	98.7
	(期 末) 2018年2月19日	2,117		△2.7	98.8
第89期	(期 首) 2018年2月19日	2,097		—	98.8
	2月末	2,109		0.6	98.7
	(期 末) 2018年3月19日	2,059		△1.8	98.8
第90期	(期 首) 2018年3月19日	2,039		—	98.8
	3月末	2,016		△1.1	98.5
	(期 末) 2018年4月17日	2,001		△1.9	98.5

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2017年10月18日～2018年4月17日)

作成期間中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年10月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界の様々な資産を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。現物資産のうち外貨建ての部分については、原則として対円で為替ヘッジを行ない、さらに新興国通貨戦略を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・組入れ資産からインカム収入を得たこと。

<値下がり要因>

- ・新興国通貨戦略がマイナスに影響したこと。
- ・不動産等関連証券が値下がりしたこと。

投資環境

（高利回り債券市況）

高利回り債券市場は概ね横ばいでした。期間の初めから2017年11月にかけては、割高感から高利回り債券は下落しましたが、その後2018年1月までは世界的な景況感の改善を背景としてリスク性資産が強含むなかで高利回り債券は一本調子で上昇しました。良好な相場環境を一変させたのは、金利上昇懸念が引き金となって2月上旬に金融市場のボラティリティ（変動性）が急上昇したことでした。リスク回避の動きが広がり、高利回り債券も大きく調整しました。3月には米国トランプ大統領が鉄鋼・アルミに対する関税強化を打ち出したことを契機に米中の貿易戦争が激化すると懸念が広がったことや、市場の評価が高かったトランプ政権の複数高官が職を離れたことから高利回り債券は軟調に推移しました。4月になると通商関連の行き過ぎた懸念が後退し、金融市場のボラティリティが低下したことから、期間末にかけて高利回り債券は戻す展開となり、期間の初めと比べて概ね横ばいで期間末を迎えました。

（不動産等関連証券市況）

REIT市場は下落しました。金利上昇と2018年2月の金融市場全般のボラティリティ上昇が下落の主因となりました。REIT市場は同月に大きく下落した後、金利およびボラティリティの低下を好感して期間末にかけて下げ幅を縮小させました。国別では米国を筆頭にオーストラリア、オランダがマイナスに影響しました。セクター別では金利感応度が高いヘルスケアの下げがきつくなりました。

MLP市場は下落しました。原油上昇は追い風となったものの、2018年3月中旬に米国エネルギー当局がMLPに適用されている税額控除を事実上一部撤廃する方針を明らかにしたことがネガティブサプライズとなり、同月に大きく下げたことが影響しました。

（優先証券市況）

優先証券市場は概ね横ばいでした。高利回り債券と同様の展開で、優先証券市場は期間の初めと比べて概ね横ばいでした。金利上昇は金利マージンの改善を通じて債券発行銀行の業績向上につながるとの見方もあり、クレジットプロダクトの中で優先証券市場は相対的に良好なパフォーマンスとなりました。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.04%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.06%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.18%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.18%近辺で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス）

相対的に高い利回りが期待できる3つの資産（高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等）に投資を行ないました。資産配分においては、高利回り債券55%、不動産等関連証券25%、優先証券等20%をめどとしました。現物資産への投資にあたっては、外貨建て部分について、原則として対円で為替ヘッジを行ないました。

また、新興国通貨の中から、金利水準などをもとに、買い建てる通貨と売り建てる通貨を選択し、金利が相対的に高い通貨を買い建てると同時に金利が相対的に低い通貨を売り建て、金利収入の獲得をめざしました。各資産における運用経過は以下の通りです。

高利回り債券の運用においては、自動車、銀行、基幹産業セクターの組入比率を引き上げました。自動車および銀行セクターでは、市場のボラティリティの影響が低くファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）が安定している銘柄に注目しました。公益、運輸、情報通信セクターの組入比率は引き下げました。信用力が高めの銘柄を中心としたポートフォリオ構成を維持しました。

不動産等関連証券の運用においては、REITとMLPの配分は概ね3対2としました。

REITでは、食料雑貨店やコンビニエンスストアなどeコマースに対抗しうる商業施設の組入れを継続しました。ネット通販の拡大により伝統的な小売業態は持続的な圧力に直面していますが、株価下落により配当利回りは上昇しています。緩やかな金利上昇を想定し、金利感応度の高いヘルスケアのウェイトを引き下げました。

MLPでは、石油・天然ガスの貯蔵・輸送で安定的な収益を生み出せる資産を有する銘柄を追加しました。

優先証券の運用においては、発行体がコールを実施しない可能性やその場合の価格リスクについても注視しながら、クーポンの高い銘柄や、金利上昇への備えとして変動金利水準の高い銘柄を組み入れるといった投資行動をとりました。

期間中の新興国通貨戦略は、金利水準などをもとに、買い建てる通貨と売り建てる通貨を選択し、運用を行ないました。買いポジションの通貨では、ブラジルレアル（大統領選挙を巡る不透明感）、トルコリラ（恒常的な経常赤字体質、中央銀行の独立性への懐疑的な見方）、ロシアルーブル（英国での二重スパイ問題やシリアを巡り対欧米関係が悪化）など下げ幅が大きくなったものが散見されました。一方、売りポジションの通貨では、ユーロ高を受けてポーランド、チェコ、ハンガリーなどの中東欧の低金利通貨が堅調であり、加えて韓国ウォンなどのアジアの低金利通貨も堅調でした。これらの要因により新興国通貨戦略全体のパフォーマンスはマイナスとなりました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	2017年10月18日～ 2017年11月17日	2017年11月18日～ 2017年12月18日	2017年12月19日～ 2018年1月17日	2018年1月18日～ 2018年2月19日	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月17日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.922%	0.907%	0.911%	0.945%	0.971%	1.000%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,022	2,054	2,086	2,119	2,153	2,188

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス）

引き続き、原則として、3つの資産（高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等）に投資を行なう方針です。現物資産のうち外貨建ての部分については、原則として対円で為替ヘッジを行ない、さらに新興国通貨戦略を行なう方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2017年10月18日～2018年4月17日)

項 目	第85期～第90期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	12	0.582	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(3)	(0.140)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(9)	(0.425)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.015	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(0)	(0.012)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	12	0.597	
作成期間の平均基準価額は、2,145円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

(2017年10月18日～2018年4月17日)

投資信託証券

銘 柄		第85期～第90期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カントリー・ストラテジー・クラス	千口	千円	千口	千円
		3,087,805	347,810	3,168,998	366,479

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第85期～第90期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 1,241	千円 1,246

○利害関係人との取引状況等

(2017年10月18日～2018年4月17日)

利害関係人との取引状況

<日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（新興国通貨戦略コース）>

区 分	第85期～第90期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 347	百万円 347	% 100.0	百万円 366	百万円 366	% 100.0
金銭信託	12	12	100.0	12	12	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区 分	第85期～第90期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 176	百万円 176	% 100.0	百万円 176	百万円 176	% 100.0

平均保有割合 0.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2017年10月18日～2018年4月17日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年10月18日～2018年4月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年4月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第84期末		第90期末		
		口	数	口	数	評 価 額
		千口		千円		%
ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス		38,528,233		38,447,040	3,886,995	98.5
合	計	38,528,233		38,447,040	3,886,995	98.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第84期末		第90期末	
		口	数	口	数
		千口		千円	
マネー・アカウント・マザーファンド		5,134		3,893	3,907

(注) 親投資信託の2018年4月17日現在の受益権総口数は、794,904千口です。

○投資信託財産の構成

(2018年4月17日現在)

項	目	第90期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
投資信託受益証券		3,886,995	96.7
マネー・アカウント・マザーファンド		3,907	0.1
コール・ローン等、その他		130,682	3.2
投資信託財産総額		4,021,584	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末	第90期末
	2017年11月17日現在	2017年12月18日現在	2018年1月17日現在	2018年2月19日現在	2018年3月19日現在	2018年4月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,718,923,096	4,682,575,336	4,562,401,582	4,342,975,379	4,176,120,215	4,021,584,059
コール・ローン等	149,490,400	119,681,884	113,845,312	105,061,255	101,835,396	114,919,667
投資信託受益証券(評価額)	4,546,144,036	4,516,604,757	4,430,234,640	4,233,476,613	4,070,113,660	3,886,995,805
マネー・アカウンツ・マザーファンド(評価額)	4,658,421	4,570,122	4,530,014	4,437,511	4,171,159	3,907,029
未収入金	18,630,239	41,718,573	13,791,616	-	-	15,761,558
(B) 負債	102,414,835	97,354,011	56,519,993	57,770,229	54,582,169	76,319,187
未払収益分配金	42,952,712	41,948,544	41,407,050	40,871,120	40,421,043	39,831,205
未払解約金	54,527,319	50,591,744	10,431,768	11,814,281	9,876,246	32,162,588
未払信託報酬	4,811,901	4,595,478	4,372,279	4,676,512	3,800,788	3,762,558
未払利息	184	148	133	115	167	191
その他未払費用	122,719	218,097	308,763	408,201	483,925	562,645
(C) 純資産総額(A-B)	4,616,508,261	4,585,221,325	4,505,881,589	4,285,205,150	4,121,538,046	3,945,264,872
元本	21,476,356,440	20,974,272,388	20,703,525,031	20,435,560,300	20,210,521,962	19,915,602,623
次期繰越損益金	△16,859,848,179	△16,389,051,063	△16,197,643,442	△16,150,355,150	△16,088,983,916	△15,970,337,751
(D) 受益権総口数	21,476,356,440口	20,974,272,388口	20,703,525,031口	20,435,560,300口	20,210,521,962口	19,915,602,623口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,150円	2,186円	2,176円	2,097円	2,039円	1,981円

(注) 当ファンドの第85期首元本額は22,017,896,437円、第85～90期中追加設定元本額は261,070,132円、第85～90期中一部解約元本額は2,363,363,946円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第85期0.2150円、第86期0.2186円、第87期0.2176円、第88期0.2097円、第89期0.2039円、第90期0.1981円です。

(注) 2018年4月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は15,970,337,751円です。

○損益の状況

項 目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	2017年10月18日～ 2017年11月17日	2017年11月18日～ 2017年12月18日	2017年12月19日～ 2018年1月17日	2018年1月18日～ 2018年2月19日	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	113,163,400	111,957,805	112,201,375	112,582,971	113,157,648	113,233,091
受取配当金	113,166,875	111,961,597	112,204,316	112,585,939	113,161,130	113,236,238
受取利息	-	5	-	-	-	27
支払利息	△ 3,475	△ 3,797	△ 2,941	△ 2,968	△ 3,482	△ 3,174
(B) 有価証券売買損益	△ 337,257,284	11,028,216	△ 86,653,244	△ 229,438,411	△ 185,455,329	△ 185,888,763
売買益	4,423,634	11,731,755	309,734	1,062,367	1,290,939	1,741,700
売買損	△ 341,680,918	△ 703,539	△ 86,962,978	△ 230,500,778	△ 186,746,268	△ 187,630,463
(C) 信託報酬等	△ 4,934,620	△ 4,712,676	△ 4,483,785	△ 4,795,778	△ 3,897,718	△ 3,858,550
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 229,028,504	118,273,345	21,064,346	△ 121,651,218	△ 76,195,399	△ 76,514,222
(E) 前期繰越損益金	△13,407,805,008	△13,332,357,135	△13,058,587,852	△12,883,073,550	△12,874,083,662	△12,772,592,105
(F) 追加信託差損益金	△ 3,180,061,955	△ 3,133,018,729	△ 3,118,712,886	△ 3,104,759,262	△ 3,098,283,812	△ 3,081,400,219
(配当等相当額)	(585,150,129)	(578,974,840)	(578,854,090)	(578,913,356)	(580,510,264)	(580,262,203)
(売買損益相当額)	(△ 3,765,212,084)	(△ 3,711,993,569)	(△ 3,697,566,976)	(△ 3,683,672,618)	(△ 3,678,794,076)	(△ 3,661,662,422)
(G) 計 (D+E+F)	△16,816,895,467	△16,347,102,519	△16,156,236,392	△16,109,484,030	△16,048,562,873	△15,930,506,546
(H) 収益分配金	△ 42,952,712	△ 41,948,544	△ 41,407,050	△ 40,871,120	△ 40,421,043	△ 39,831,205
次期繰越損益金 (G+H)	△16,859,848,179	△16,389,051,063	△16,197,643,442	△16,150,355,150	△16,088,983,916	△15,970,337,751
追加信託差損益金	△ 3,180,061,955	△ 3,133,018,729	△ 3,118,712,886	△ 3,104,759,262	△ 3,098,283,812	△ 3,081,400,219
(配当等相当額)	(585,150,129)	(578,974,840)	(578,854,090)	(578,913,356)	(580,510,264)	(580,262,203)
(売買損益相当額)	(△ 3,765,212,084)	(△ 3,711,993,569)	(△ 3,697,566,976)	(△ 3,683,672,618)	(△ 3,678,794,076)	(△ 3,661,662,422)
分準備積立金	3,758,690,402	3,729,352,438	3,740,352,380	3,751,491,150	3,771,210,839	3,777,693,993
繰越損益金	△17,438,476,626	△16,985,384,772	△16,819,282,936	△16,797,087,038	△16,761,910,943	△16,666,631,525

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年10月18日～2018年4月17日)は以下の通りです。

項 目	2017年10月18日～ 2017年11月17日	2017年11月18日～ 2017年12月18日	2017年12月19日～ 2018年1月17日	2018年1月18日～ 2018年2月19日	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	108,228,611円	107,667,687円	107,717,436円	107,787,039円	109,259,769円	109,374,366円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	585,150,129円	578,974,840円	578,854,090円	578,913,356円	580,510,264円	580,262,203円
d. 信託約款に定める分準備積立金	3,693,414,503円	3,663,633,295円	3,674,041,994円	3,684,575,231円	3,702,372,113円	3,708,150,832円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	4,386,793,243円	4,350,275,822円	4,360,613,520円	4,371,275,626円	4,392,142,146円	4,397,787,401円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,042円	2,074円	2,106円	2,139円	2,173円	2,208円
g. 分配金	42,952,712円	41,948,544円	41,407,050円	40,871,120円	40,421,043円	39,831,205円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

○お知らせ

約款変更について

2017年10月18日から2018年4月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス
	ケイマン籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	信託財産の成長および毎月分配を行なうことを目標に積極的な運用を行ないます。
主な投資対象	世界各国の高利回り証券(高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等)および新興国の通貨戦略の投資成果を享受するためのトータル・リターン・スワップ取引またはフォワード取引などを投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> 運用にあたっては、世界各国の高利回り証券(高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等)を主な投資対象とし、円ヘッジベースでの信託財産の成長および毎月、分配を行なうことを目標に積極的な運用を行ないます。 信託財産の純資産総額に対して、新興国通貨戦略に関するスワップ取引またはフォワード取引などの実質的な建玉の割合が130%程度となるよう調整を行ないます。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 純資産総額の50%以上を有価証券に投資します。 投資信託証券など(ETFとREITを除きます。)への投資割合は純資産総額の5%を超えないものとします。 不動産運動社債への投資割合は純資産総額の10%を超えないものとします。 仕組債やカバードワラントなどの仕組証券(不動産運動社債を除きます。)への投資割合は純資産総額の15%を超えないものとします。 流動性に欠ける資産への投資割合は純資産総額の15%を超えないものとします。 純資産総額の10%を超える借入れは行ないません。
収益分配	原則として、毎月第2営業日に分配を行ないます。なお、投資顧問会社の判断により収益分配を行わないことがあります。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.861%(国内における消費税等相当額はかかりません。) ※この他に、固定報酬として年額5,000米ドルがかかります。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	解約時の基準価額に対し0.3%(1口当たり)
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント
副投資顧問会社	クレディ・スイス・アセット・マネジメント(スイス)リミテッド スペクトラム・アセット・マネジメント・インク J.P.モルガン・インベストメント・マネジメント・インク
管理会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント
信託期間	2157年10月21日まで
決算日	原則として、毎年10月31日

◆財政状態計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2017年10月31日現在
 (日本円で表示)
 2017年
 千円

資産

現金および現金同等物	399,946
損益を通じて公正価値評価される金融資産	5,318,733
未収利息	69,240
未収配当金	3,610
ブローカーからの未収金	110,055

資産合計

5,901,584

負債

損益を通じて公正価値評価される金融負債	40,356
ブローカーに対する未払金	47,199
買戻しに係る未払金	21,682
未払費用およびその他未払金	16,112

負債合計 (受益者に帰属する純資産を除く)

125,349

受益者に帰属する純資産

5,776,235

受益証券残高数合計

クラスA	38,257,888,459
クラスB	1,743,292,071
クラスC	49,764,593
クラスD	<u>105,183,542</u>

受益証券1口当たり純資産価額

クラスA	¥	0.1246
クラスB	¥	0.5185
クラスC	¥	0.8680
クラスD	¥	<u>0.5866</u>

◆包括利益計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2017年10月31日に
終了した会計期間
(日本円で表示)
千円

受取利息	317,973
受取配当金	124,330
損益を通じて公正価値評価される金融資産に係る純損失	(376,956)
純為替差益	22,498
雑収益	1,949
利益合計	89,794
運用報酬	(52,431)
管理、名義書換代理人、カストディアン報酬	(7,596)
ライセンス料	(5,525)
監査費用	(7,518)
法律顧問費用	(663)
受託者報酬	(570)
銀行手数料	(102)
財務書類作成費用	(1,139)
運用費用合計	(75,544)
運用による税引前金融費用控除前利益	14,250
源泉徴収税	(30,766)
受益者に対する分配金	(1,627,172)
当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計	(1,643,688)

◆受益者に帰属する純資産の変動計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2017年10月31日に
終了した会計期間
(日本円で表示)
千円

期首残高	8,176,185
受益者との取引	
受益証券の申込み	
－クラスA	741,030
－クラスB	19,177
－クラスC	33,153
－クラスD	44,437
	837,797
受益証券の買戻し	
－クラスA	(1,199,439)
－クラスB	(320,171)
－クラスC	(53,749)
－クラスD	(20,700)
	(1,594,059)
受益者との取引合計	(756,262)
当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計	(1,643,688)
期末残高	5,776,235

◆キャッシュ・フロー計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2017年10月31日に
終了した会計期間
(日本円で表示)
千円

運用活動

当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計 (1,643,688)

調整額：

受取利息	(317,973)
受取配当金	(124,330)
源泉徴収税	30,766
受益者に対する分配金	1,627,172

運転資本変更前営業損失 (428,053)

損益を通じて公正価値評価される金融資産の減少額	2,339,231
ブローカーからの未収金の減少額	3,620
損益を通じて公正価値評価される金融負債の減少額	(107,475)
ブローカーに対する未払金の減少額	(14,844)
未払費用およびその他未払金の増加額	1,331
利息受領額	334,219
配当金受領額	130,675
源泉徴収税支払額	(30,766)

運用活動から生じた現金純額 2,227,938

財務活動

受益証券申込みに係る手取金	837,797
受益証券買戻しに係る支払金	(1,608,753)
受益者に対する分配金	<u>(1,627,172)</u>
財務活動で使用した現金純額	<u><u>(2,398,128)</u></u>
現金および現金同等物の純減少額	(170,190)
期首現在の現金および現金同等物の残高	<u>570,136</u>
期末現在の現金および現金同等物の残高	<u><u>399,946</u></u>

◆損益を通じて公正価値評価される金融資産および金融負債

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2017年
千円

損益を通じて公正価値評価される金融資産：

非デリバティブ金融商品（上場）：

－ 株式	601,862
－ 不動産投資信託（REIT）	720,343
	<u>1,322,205</u>

非デリバティブ金融商品（非上場）：

－ 債券	3,872,119
－ ローン	70,291
	<u>3,942,410</u>
	<u>5,264,615</u>

デリバティブ金融商品（非上場）：

－ 外国為替先渡契約	51,566
－ ワラント	2,393
－ トータル・リターン・スワップ	159
	<u>54,118</u>
	<u>5,318,733</u>

損益を通じて公正価値評価される金融負債：

デリバティブ金融商品（非上場）：

－ 外国為替先渡契約	(24,761)
－ トータル・リターン・スワップ	(15,595)
	<u>(40,356)</u>

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第8期（決算日 2017年10月12日）
（2016年10月13日～2017年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
	円		%	%	百万円
4期(2013年10月15日)	10,035		0.1	88.6	778
5期(2014年10月14日)	10,042		0.1	60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0	62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2016年10月12日	円		%
	10,042		—
10月末	10,042		0.0
11月末	10,042		0.0
12月末	10,041		△0.0
2017年1月末	10,041		△0.0
2月末	10,041		△0.0
3月末	10,040		△0.0
4月末	10,040		△0.0
5月末	10,040		△0.0
6月末	10,039		△0.0
7月末	10,039		△0.0
8月末	10,038		△0.0
9月末	10,038		△0.0
(期 末) 2017年10月12日	10,038		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2016年10月13日～2017年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,042円の基準価額は、期間末に10,038円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.02%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.31%近辺から、日銀による国債買入れの継続を受けてマイナス圏での推移が続き、-0.17%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

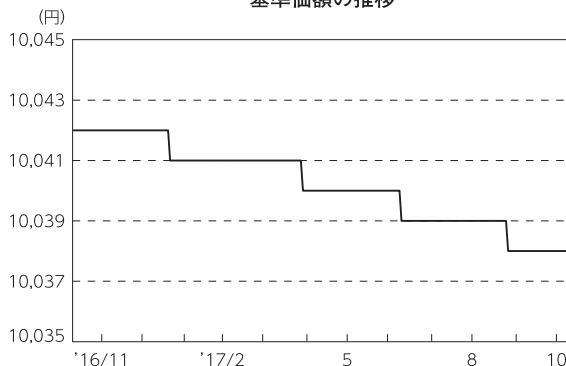
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2016/10/12	2016/10/13	2017/08/28	2017/10/12
10,042円	10,042円	10,038円	10,038円

○1万口当たりの費用明細

(2016年10月13日～2017年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,040円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年10月13日～2017年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年10月13日～2017年10月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
金銭信託	百万円 357	百万円 357	% 100.0	百万円 357	百万円 357	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2016年10月13日～2017年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2017年10月12日現在)

2017年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2017年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	661,682	100.0
投資信託財産総額	661,682	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				円
	コール・ローン等			661,682,646
(B) 負債				661,682,646
	未払解約金			278,376
	未払利息			277,864
				512
(C) 純資産総額(A-B)				661,404,270
	元本			658,910,922
	次期繰越損益金			2,493,348
(D) 受益権総口数				658,910,922口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,038円

(注) 当ファンドの期首元本額は480,993,642円、期中追加設定元本額は415,964,251円、期中一部解約元本額は238,046,971円です。

(注) 2017年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・中華圏株式ファンド (毎月分配型)	287,259,337円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) ブラジルレアルコース	837,597円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース> (毎月分配型)	69,547,135円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	753,337円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (マネー・プールファンド)	41,815,963円	・ノーロード・インド株式フォーカス (毎月分配型)	752,217円
・アジア社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	32,778,388円	・世界標準債券ファンド (1年決算型)	678,078円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	28,955,453円	・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	676,024円
・エマージング・プラス (マネー・プールファンド)	27,451,112円	・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	636,075円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	22,456,222円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型)	610,742円
・世界標準債券ファンド	20,281,261円	・オーストラリア・インカム株式ファンド (毎月分配型)	541,940円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	20,092,189円	・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	524,878円
・アジア社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	16,240,188円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり (適格機関投資家向け)	374,593円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	13,108,450円	・世界のサイフ2 (毎月分配型)	334,258円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	12,991,511円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) 資源国通貨コース	144,907円
・グリーン世銀債ファンド	6,067,283円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (1年決算型) 為替ヘッジあり	101,456円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式 (MSCIエマージング)	99,902円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)	5,134,883円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (通貨プレミアムコース)	64,022円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース> (毎月分配型)	4,965,465円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) オーストラリアドルコース	62,350円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース> (毎月分配型)	4,433,361円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)	54,631円
・アジアリートファンド (毎月分配型)	4,377,699円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) ヘッジなしコース	45,908円
・エマージング・プラス・円戦略コース	3,190,026円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (ヘッジなしコース)	45,584円
・高金利成長通貨ファンド (毎月分配型)	2,686,757円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (毎月分配型) 為替ヘッジなし	34,511円
・インデックスファンドMLP (1年決算型)	2,565,899円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)	33,112円
・SMBC・日興 世銀債ファンド	2,451,358円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	29,657円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	2,357,284円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス (毎月分配型)	27,713円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	2,312,618円	・上場インデックスファンド海外先進国株式 (MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・欧州社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	1,956,450円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500)	19,983円
・アジアREITオープン (毎月分配型)	1,507,407円	・上場インデックスファンドNifty50先物 (インド株式)	19,983円
・日興グラビティ・ファンド	1,220,458円	・上場インデックスファンド中国H株 (ハンセン中国企業株)	19,983円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	1,167,296円	・上場インデックスファンド豪州リート (S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,133,961円	・アジア債券ファンド (毎月分配型)	17,801円
・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	1,107,582円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (1年決算型) 為替ヘッジなし	16,020円
・欧州社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	1,006,611円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (円ヘッジコース)	962,609円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジなし)	9,958円
・日興GSグロース・マーケット・ファンド	870,773円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジあり)	9,958円
・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	848,153円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,314円

(注) 1口当たり純資産額は1.0038円です。

○損益の状況

(2016年10月13日～2017年10月12日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		△ 247,709
	受取利息		2,050
	支払利息		△ 249,759
(B)	保管費用等		△ 1,056
(C)	当期損益金(A+B)		△ 248,765
(D)	前期繰越損益金		2,029,982
(E)	追加信託差損益金		1,669,721
(F)	解約差損益金		△ 957,590
(G)	計(C+D+E+F)		2,493,348
	次期繰越損益金(G)		2,493,348

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2016年10月13日から2017年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。